

## 運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 令和5年3月		
参加者		議 題
利用者様	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告</li> <li>・本社社名変更について</li> <li>・個別訓練の取り組みについて</li> <li>・歩行分析アプリ</li> <li>・個別訓練事例紹介</li> <li>・ヒヤリハット</li> <li>・質疑応答</li> </ul>
利用者家族様	1名	
学職経験者	1名	
市職員	1名	
地域包括支援センター	1名	
事業所	1名	
会 議 録		
<p>※コロナウイルス感染防止の為開催を中止させていただきました。</p> <p>各参加者予定者様には書面にて報告させて頂きご意見ご感想を頂きました。</p> <p>1. 事業報告  曜日別利用状況  利用介護度別人数</p> <p>2、 本社社名変更について</p> <p>3、 事業所の特色</p> <p>4、 歩行分析アプリ</p> <p>5、 個別機能訓練の実施状況  改善事例の紹介  両膝変形性関節痛症の方の事例</p> <p>6、 ヒヤリハット</p> <p>7、 質疑応答、感想など</p>		

#### 利用者 N 様

職員がすごく良く、楽しく来ています。家で一人なのでここに来て、色々な方と話せるから休まず来たいです。迎えにも来てもらい申し訳なく思っています。笑顔でいつも迎えに来てくれるので、こちらも自然と笑顔になっていきます。今後も楽しく通わせてもらいます。

#### 事業所

いつも楽しく利用されております。運動にも積極的で自ら「このマシンするね」など声を掛けてくださいます。他者様とも楽しくお話されておりますので、今後も継続ししっかり運動を行っていただけるよう支援して参ります。

#### 利用者 T 様

家で出来る運動を教えてもらっているがなかなか家で出来ない。出来るように少しずつ頑張っていこうかな。いい職員さんばかりで、楽しく利用出来ています。利用者さんが増え、TRX 運動の時の間隔が狭くなり大きく手を広げることが難しくなっている。2部制にしてもらえるともっと大きく手が広げられる。

#### 事業所

お休みされることなく楽しくご利用出来ております。TRX の件は職員で話し合い、翌日から2部制に分けさせてもらいました。みなさんが楽しんで出来るよう工夫しております。

#### 利用者 K 様家族様：

デイへの知識は全くなかったので、母を通わせて頂く時に入浴と体力の回復とリハビリに重点をおいて、ケアマネさんに選んで頂いた中で母が選択させて頂きました。広場のようなところで色々なリハビリの器具を使ったり体操をしたりする時に必ずスタッフの方が近くで見守って下さるとの事で安心して通所をしています。最近は体力もついて半日コースで行きたがっていた榮にも出掛けられるようになり更にリハビリに力を入れています。笑笑音さんへ通うことで生活のバランスもとれて健康も保つことが出来ていると思います。

#### 事業所：

色々な所を体験され、最初はどこにも行きたくないとおっしゃってございました。しかし笑笑音を体験しとても気に入っていただき、今では週3回休まれることなくご利用されております。初めの目標は友達の家に行くことを目標にしておりましたが、榮まで出掛けられるようになったようです。今後も生活のバランスがとれ健康も保てるよう支援していきたいと思っています。

#### 学識経験者：

今回の症例の提示のように、自宅での入浴を自立に向かわせるための取り組みは大変重要なことと思いますが、その取り組みにもご苦労されているとも思います。この報告で感心したことは、利用者の身体能力や自宅での浴室の観察や写真などから入浴動作方法を考え、筋力などの身体機能のリハビリのみならず、安全・安心な入浴動作を行っていただくための手すりの設置やさまざまな種類があるシャワーチェアへの選択を利用者の身体能力に応じて利用していることです。また、デイサービス内での入浴では、自宅での入浴と同様な方法で練習を行って

ることも自宅入浴を自立に向かわせた要因と思いました。大変手間のかかる事と思いますが、今後も是非継続していただければ考えます。

2 つめの症例で用いた AI による歩行解析はとても有意義なことと思います。歩行のどの要素が低下しているか理解できることで、何をリハビリしていくかが明確になりますし、歩行の観察に不慣れなスタッフの教育にもつながり、歩行をどの観点で、どのように観察するか能力アップが期待されます。より早期に歩行機能の低下を見つけ、それに対する取り組みがより早く行えることで歩行機能を維持しやすくなると思います。

事業所：

今自宅で入浴出来ない方が、今後安全に入れるよう訓練・支援をしていきたいと思えます。

地域包括センター様：

今後も身体拘束等の適正化・ヒヤリハットの対応、防止の継続をお願いします。

事業所：

ヒヤリハットがあった場合は、今後も職員で話し合い事故に繋がらないように努めていきます。

市職員様

(1) 歩行分析アプリについて

- ①どのくらいの頻度で分析を行っていますか。
- ②分析結果の活用方法について教えていただければと思います。

(2) 個別訓練の実施状況について

利用者様の自宅で入浴したいという意向に沿い、事業所として様々な工夫をされていることがわかりました。

事業所：

- 1 原則 6 か月毎です。(来所中に特に気になる歩行能力の変化があればその時点で計測する)
- 2 観察にて歩行能力の変化が認められなくても計測によって詳細に評価することでより早期に改善や変化を見つけることができる。そのパラメータ(速度・ふらつき等)に応じて運動内容を工夫し身体機能の低下を防ぐことが出来る。

入浴以外でも個別機能訓練はその方に合った訓練をしております。利用者様が自宅でも自立にて行えるよう支援していきます。

次回の運営推進会議は令和 5 年 9 月を予定しております。